

平成28年度 第1回 技術室主催 東京大学医科学研究所テクニカルセミナー

## 次世代発光レポーターを用いた分子間相互作用解析

NanoBiT 新規 2 分子相補システムを用いた  
細胞内タンパク質分子間相互作用モニタリング

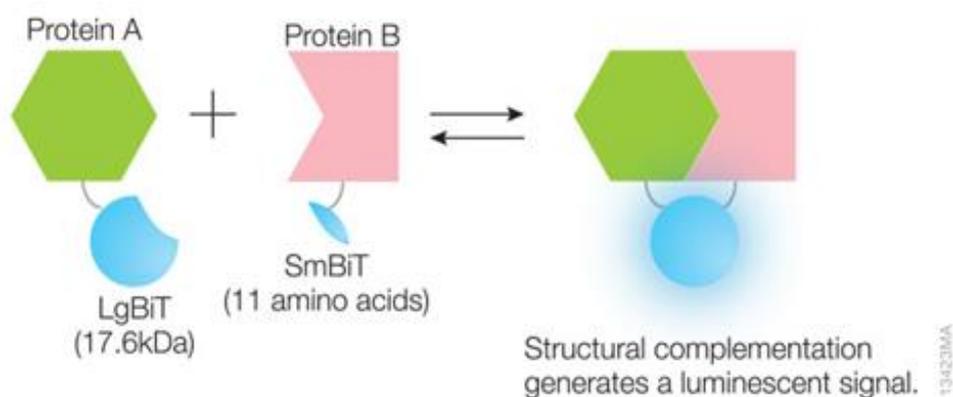
日時： 2016年5月20日(金) 16:00~17:00

会場： 東京大学医科学研究所 2号館 2階小講義室

演者： プロメガ株式会社 テクニカルサービス部 大田 光徳

### ■要旨

タンパク質間相互作用 (PPI) は細胞内のシグナル伝達ネットワークの必須要素です。*In vitro* で PPI をモニタリングする方法は数多くありますが、細胞内で検出する方法はそれほど多くありません。プロメガは NanoLuc®ルシフェラーゼをベースにした2つのサブユニットシステムで細胞内でのPPI 検出を可能にするNanoLuc® 2分子テクノロジー (NanoBiT : NanoLuc® Binary Technology) を開発しました。Large BiT (LgBiT;18 kDa) およびSmall BiT (SmBiT; 11アミノ酸ペプチド) のサブユニットをそれぞれ標的タンパク質との融合体として発現させ、PPI が起こるとサブユニットの相補性が促進され発光酵素として明るい光を生じます。本セミナーでは、NanoBiTテクノロジーの特長、PPI解析への応用例、またNanoBERTとの違いについてご紹介致します。



★事前の申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください★

連絡先 プロメガテクニカルサービス部

電話：03-3669-7980、電子メール：prometec@jp.promega.com